

第 2 期 決 算 公 告

平成 19 年 4 月 25 日

岡山県真庭市開田 182 番地
株 式 会 社 ニ ッ チ
代表取締役 吉 田 隆 宣

貸借対照表の要旨

(平成 19 年 3 月 31 日 現在)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]	[130,924,049]	[流動負債]	[93,605,533]
現 金	5,819,485	支 払 手 形	6,365,075
預 金	23,377,956	買 掛 金	74,206,606
売 掛 金	18,077,554	短 期 借 入 金	5,004,000
貸 倒 引 当 金	150,000	当 座 借 越	5,000,000
商 品	73,874,900	未 払 金	1,545,459
未 収 入 金	462,200	未 払 法 人 税 等	91,300
差 入 積 立 金	9,461,954	前 受 金	382,490
[固定資産]	[295,000]	預 り 金	1,010,603
(投資その他の資産)	(295,000)	[固定負債]	[3,741,000]
敷 金	295,000	長 期 借 入 金	3,741,000
		負 債 合 計	97,346,533
		純資産の部	
		[株主資本]	[33,872,516]
		(資本金)	(30,000,000)
		資 本 金	30,000,000
		(利益剰余金)	(3,872,516)
		[その他利益剰余金]	(3,872,516)
		繰 越 利 益 剰 余 金	3,872,516
		純 資 産 合 計	33,872,516
資 産 合 計	131,219,049	負 債 ・ 純 資 産 合 計	131,219,049

個別注記表 自 平成18年4月1日 至平成19年3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品は最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。

3. 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜処理を採用しております。

4. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 600株